

「責任」としての ジェンダード・イノベーション



ジェンダード・イノベーション（GI）は、科学史家ロンダ・シービンガーによって創始された、公正で持続可能な科学技術の実現に向けた研究開発プログラムです。GIは研究開発のあらゆる段階に性差分析・交差性分析を組み込むことで、生み出される知識や技術の「偏り」を発見し、是正しようとしています。しかし、知識や技術の「偏り」とは何でしょうか。それを是正する責任は誰が負うべきなのでしょう。それを是正するために、私たち一般市民には何ができるのでしょうか。本セミナーではこうした問いについて、シービンガーも関わりの深い無知学や、政治哲学者アイリス・マリオン・ヤングの責任論を参照しながら考えてみたいと思います。

講師：鶴田 想人

大阪大学社会技術共創研究センター特任研究員、専門は科学史・科学論。東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得退学。共著に『ジェンダード・イノベーションの可能性』、共訳にシービンガー『奴隷たちの秘密の薬』。

日時：2025年 **1**月**29**日(水)
9:30-10:30

対象：本学の学生・教職員

※お茶大のメールアドレスをお持ちの方

会場：国際交流留学生プラザ
3階セミナー室

要申込



締切 **1月28日(火)**
12:00 まで